

教員の学内事務手続きに おける利便性の向上

1. グループの目的と中間報告までの活動内容について

■ 目的

教員の学内事務手続きにおける利便性の向上

＜現状に対する問題意識＞

- ① 教員が行う手続きの種類が多く、問合せ先がわかりにくい。
- ② 情報提供が一元化されておらず、周知が十分になされていない。
- ③ 教員からの問合せの際に、たらい回しにする、あるいは誤った情報を伝えてしまう。

■ 中間報告までの活動内容

教員向け一斉アンケートの実施

- ① アンケートの全体構成・照会方法等の検討
- ② 各メンバーによるアンケート項目の洗い出し
- ③ アンケート項目の取捨選択・ブラッシュアップ
- ④ アンケート実施(9/21照会～9/29締切)

※中間報告会：平成29年9月27日(水)実施

教員向けアンケートについて(詳細)

■目的

教員の事務手続きに関する要望や疑問等を把握するため。

■対象者

本学教員(非常勤講師は除く)

■調査方法

「Googleフォーム」を使用。(リンクはメールにて送付)

■実施期間

9月21日(木)～9月29日(金)

■回答数

60件(照会数 常勤教員約600人)

【参考1】教員の事務手続きの探し方

Q. 事務手続きの方法を探す際、どのように調べているか教えてください。(複数回答可)

- 1位 (92.2%) 自分が所属する部局事務に問い合わせる。
- 2位 (64.7%) 知り合いの教員や研究室の秘書に相談する。
- 3位 (43.1%) 各担当部署のウェブサイト・マニュアルを見る。
- 4位 (41.2%) 教職員向け情報で調べる。
- 5位 (25.5%) 本学のホームページから調べる。
- 6位 (2%) サイボウズグループから調べる。
過去に送られたメールを検索する。

【参考2】教員からの意見・要望について

- ・情報がバラバラに掲載されているため、わかりにくい。
- ・マニュアルが使用者目線で書かれていないため、わかりにくい。また、記載されていない慣例が多い。

(その他)

- ・学生の「何でも相談」のような窓口の教員版がほしい。
- ・事務担当者に問い合わせ、間違った情報を提供されることがある。
- ・毎年一回程度は事務から情報提供の場を設けてほしい。(講習など)
- ・細々とした作業があまりに多いので、できるだけ負担を減らしてほしい。
- ・書類の最下部などに、提出先などを記載しておいてほしい。

2. 中間報告以降の活動内容について

- ① アンケート結果の集計・内容分析
- ② アンケートから得られた情報をもとに、今後の方針を決定
- ③ 各メンバーで分担し、成果物作成に向けた作業の開始

※この過程で、必要に応じて担当部署へのヒアリングを実施

3. 具体的な提案内容・成果について

■ 成果

「各種事務手続きの対応窓口一覧」の作成

<作成にあたって>

- 事務分掌規程等を参考に作成
- できるだけ業務内容を細分化
- 細分化した業務について、必要性を考えつつ項目を取捨選択

<一覧表のメリット>

- 五十音順に業務内容が明記されているため、目的の業務や担当部署を探しやすい
- 今後、改訂を行う上でも編集作業が容易にできる
- 学内に既にあるマニュアルを活用できる

対応窓口一覧(抜粋)

キーワード	担当当局	内線	E-mail	備考	
あ	ILサービス(学外への文献複写・図書借用)	図書館情報課情報サービス係	3217	libref@ynu.ac.jp	申し込みについてはホームページに記載あり(http://www.lib.ynu.ac.jp/form/index.html#sub2)
	Adobe包括ライセンスの申請	情報企画課情報企画係		joho.kikaku@ynu.ac.jp	http://www.joho-kikaku.ynu.ac.jp/gakunai/adobe/index.php ※学内限定
	安全保障輸出管理	研究推進課研究総務係		kenkyu.somu@ynu.ac.jp	安全保障輸出管理に関する連絡・相談口別速設置済
い	RA	各部署総務担当係		※下記参照	
	一般財源関係	各部署会計担当係		※下記参照	
	インターナショナル・アドミッション・オフィス	国際教育課留学生受入係		kokusai.keire@ynu.ac.jp	
	インターンシップ	学生支援就職支援係		gakusei.shushoku@ynu.ac.jp	全学対象インターンシップの総括・とりまとめ
		理工学系大学院等事務部教務・大学院工学府係	3813/3814 3817/3818	教務係:ses.kyomu@ynu.ac.jp 工学府係:ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp	部局所属学生対象インターンシップは左記の各担当係へ
教育学部事務部学務第一・第二係		3491/3259 3415/3260	学務第一係:edugakumu1@ynu.ac.jp 学務第二係:edugakumu2@ynu.ac.jp	部局所属学生対象インターンシップは左記の各担当係へ	
社会系事務部経済・経営学務係		3508/3656/3509 3653/3684/3664	経済学務係:int.keizai@ynu.ac.jp 経営学務係:int.keiei@ynu.ac.jp	部局所属学生対象インターンシップは左記の各担当係へ	
え	栄典・表彰(永年勤続等)	人事・労務課職員・共済係	3069/3026	jijin.shokuin@ynu.ac.jp	統括・とりまとめ
		教育学部事務部総務係	3253/3255	edu.somu@ynu.ac.jp	問合せおよび書類の提出は左記の各所属先担当係へ
お	大岡インターナショナルレジデンス	社会系事務部総務企画係	3602/3605/3606	int.somu@ynu.ac.jp	問合せおよび書類の提出は左記の各所属先担当係へ
		理工学系大学院等事務部教職員係	3806/3829	ses.kyoshokuin@ynu.ac.jp	問合せおよび書類の提出は左記の各所属先担当係へ
		学生支援課学生支援係		gakusei.gakusei@ynu.ac.jp	http://www.ynu.ac.jp/campus/institution/accommodation.html
		理工学系大学院等事務部教務・大学院工学府係	3813/3814 3817/3818	教務係:ses.kyomu@ynu.ac.jp 工学府係:ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp	
	オリエンテーション関係	教育学部事務部学務第一・第二係	3491/3259 3415/3260	学務第一係:edugakumu1@ynu.ac.jp 学務第二係:edugakumu2@ynu.ac.jp	
オープンキャンパス関係	社会系事務部経済・経営学務係	3508/3656/3509 3653/3684/3664	経済学務係:int.keizai@ynu.ac.jp 経営学務係:int.keiei@ynu.ac.jp		
	理工学系大学院等事務部入試係 教育学部事務部入試係		ses.nyushi@ynu.ac.jp edu.nyushi@ynu.ac.jp		
か	海外協働教育研究拠点	国際戦略室国際企画係		kokusai.kikaku@ynu.ac.jp	http://www.ynu.ac.jp/international/enterprise/branch.html
	海外同窓会	国際戦略室国際企画係		kokusai.kikaku@ynu.ac.jp	http://www.globallumni.ynu.ac.jp/
	海外渡航(教職員対象)	国際戦略室国際企画係		kokusai.kikaku@ynu.ac.jp	
	海外留学	国際教育課留学交流係		kokusai.yugaku@ynu.ac.jp	http://www.kokusai-senryaku.ynu.ac.jp/studyabroad/index.html
	会議(教授会・代議員会等)	各部署総務担当係		※下記参照	
	会議(入学者選抜関連)	入試課入試第一係		nyushi1@ynu.ac.jp	

4. 関連部署の反応について

■ヒアリングの際の反応

- ・協力を依頼した職員からはおおむね快く引き受けて頂くことができた。
- ・一覧表が配布されれば、担当部署の間違いやある程度は減って、教員・事務職員ともに助かるのではないかというお言葉を頂くことができた。

■ 課題について

■ 事務局と各事務部の業務分担の関係

個々の対応: 各部局事務部の担当者

事務局: とりまとめ

<課題> 一覧表に掲載する窓口をどこまでにするか?

■ 複数の部署が担当する業務について

<例: 日本学術振興会の科学研究費助成事業>

申請段階: 研究助成係

採択後: プロジェクト登録は外部資金第一係、執行は部局会計係

<課題> フローチャートのような形で部署案内をしたほうがわかりやすい?

■ 一覧表の管理運用体制について

<課題>

・ウェブサイトに掲載するだけで、教員に情報はうまく伝わるのか?

・事務組織などの変更があった場合に、誰がどのように更新作業や周知を行うのか。

5. 達成度について

■全学的な運用に繋げ、具体的な成果を挙げるといったレベルまで達成することはできなかった

しかし・・・

■今回の活動は、私たち自身にとっての業務理解のために有益な経験

■教員の皆様からの意見や要望の把握、活動の過程で得た知識を踏まえて今後の業務に取り組みたい